

かまいし

市議会だより



12月定例会の概要.....	2
議会改革特別委員会.....	2
議案の賛否・討論.....	3
一般質問（10人登壇）... ..	4
議案審議.....	14
議員全員協議会.....	14
市政調査会.....	15
常任委員会活動報告.....	15
議会の動き.....	15
新しい年に臨んで.....	16



令和2年
12月定例会

No. 163

釜石湾の目の出を臨む・ピッコロ子ども倶楽部桜木園の雪遊び

12月定例会の概要

将来を見据え、力強い釜石へ 減債基金を活用し公債費を繰上償還

12月定例会が12月7日から18日まで、12日間の会期で開催されました。

初日には、市長から新型コロナウイルス感染症対策、復興事業の進捗状況、第六次釜石市総合計画の進捗状況、屋形遺跡に係る文化審議会の答申についての報告がありました。

15日からの一般質問には10人が登壇し、医療・福祉、産業振興、学校教育などさまざまな行政課題について議論を行い、市当局の考えをたどりました。

今定例会に付託された市長提出議案23件は、全て原案のとおり同意、可決されました。なお、最終日には請願採択の採決が行われ、反対討論がありました。賛成多数で可決し、また、議員提出議案1件について原案のとおり可決しました。

本定例会では第六次総合計画がスタートする新年度に弾みをつけるべく、一般質問の内容は多岐にわたりました。

特に、過疎化かつ少子高齢化が進展する当市では、医療・福祉、人口減少、地域産業の振興が課題だと考える議員が多く、質問が集中しました。

また、市内で新型コロナウイルス感染者が確認されたこともあり、その対策について多くの時間を割いて議論がなされました。

議論がされました。補正予算は計2件が当局から提案され、いずれも可決されました。

議場内の放送設備の更新及びリアルタイムでのオンライン配信に対応するための費用や、新庁舎建設基金への積立、ひとり親家庭に對して追加給付を実施することなどが盛り込まれています。

また、減債基金を活用して繰上償還を行い、公債費の負担を低減しました。

令和3年は東日本大震災から10年を迎え、震災復興事業は一区切りの時期となります。

これからの当市の予算規模は震災以前の水準まで段階的に縮減していくものと予想されます。

かつての日常を取り戻していく中で、新たな課題も発生します。

限られた財源で可能な限り課題を解消していくことが求められています。

議会改革特別委員会

令和2年11月17日に議会改革特別委員会は大町の釜石PITにおいて（仮称）

市民の声を聞く会をNEXT KAMASHI（ネクスト カマイシ）様から7名を迎えて開催しました。

市民から議会に對しての発言として、議員のなり手不足や膝を交えて市民と話すことの重要性、当局と議会の緊張のある関係の維持など貴重なご意見、ご質問をいただきました。

その中でも釜石市政、初となった無投票選挙について「新しい風が吹かず残念だ」との感想もありました。



活発な意見交換の場となった
（仮称）市民の声を聞く会

議 決 議 案

令和2年12月定例会

議案番号	議 案 名	審議結果	
請願第2号	「安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる少人数学級」の実現を求めることについての請願書	採択	多数
報告第15号	公用車による車両損傷事故に係る損害賠償事件に関する専決処分の報告について		
第93号	釜石市議会の議決すべき事項を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
第94号	釜石市市税外収入金等徴収に関する条例等の一部を改正する条例	可決	全員
第95号	釜石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	全員
第96号	令和2年度釜石市一般会計補正予算(第8号)	可決	全員
第97号	令和2年度釜石市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	全員
第98号	令和2年度釜石市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	全員
第99号	令和2年度釜石市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	全員
第100号	令和2年度釜石市魚市場事業特別会計補正予算(第2号)	可決	全員
第101号	令和2年度釜石市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	全員
第102号	令和2年度釜石市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	全員
第103号	上平田川水門工事(その2)の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて	可決	全員
第104号	唐丹小白浜地区漁具置場整備工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて	可決	全員
第105号	負担付きの寄附を受けることに関し議決を求めることについて	可決	全員
第106号	財産の無償貸付けに関し議決を求めることについて	可決	全員
第107号	釜石市営住宅等の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
第108号	釜石市中村郷土芸能どんがた館の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	可決	全員
第109号	災害弔慰金等支給審査会の委員の任命及び平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波に係る災害弔慰金等支給審査会の運営に関する事務の委託を廃止する協議に関し議決を求めることについて	可決	全員
第110号	釜石市土地開発公社の解散に関し議決を求めることについて	可決	全員
第111号	市道路線の廃止に関し議決を求めることについて	可決	全員
第112号	市道路線の認定に関し議決を求めることについて	可決	全員
第113号	釜石市固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて	同意	全員
第114号	令和2年度釜石市一般会計補正予算(第9号)	可決	全員
議議案第3号	「少人数学級」の実現を求める意見書の提出について	可決	多数

議案の賛否 (○は賛成、×は反対、木村議長は採決に加わりません。)

議員名 議 案	大 林	川 嶋	三 浦	野 田	磯 崎	深 澤	平 野	遠 藤	佐々木 聡	千 葉	古 川	高 橋	細 田	山 崎	木 村	菊 池	佐々木 義昭	水 野	賛 成	反 対
請願第2号 「安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる少人数学級」の実現を求めることについての請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	-	○	○	○	16	2
議案第3号 「少人数学級」の実現を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	-	○	○	○	16	2

請願第2号(要旨)

新型コロナウイルス感染症防止対策として、教室が密集状態になることを避けると共に、ゆきとどいた教育を進めるために少人数学級の実現を求める請願である。

請願第2号に対する反対討論(要旨)

【細田孝子議員】

少人数学級の実現が、感染防止対策につながるというのであれば理解できる。しかし、感染防止対策のために少人数学級の実現を求めるというのは本末転倒ではないのか。少人数学級の導入は、教師の負担軽減のみならず、より丁寧に子どもたちの面倒を見られることにより、学力の向上や心のケアにつながるなど理想的な教育環境として、我々も望むところであり、その推進にも関わってきた。感染防止対策を理由とした少人数学級推進の意見書提出は余りにも便乗的発想ではないか。県内及び市内小中学校は、ほぼ少人数学級であり、むしろ、少子化が進み、学校統合の話さえある。よって、本請願に反対する。



千葉 栄
(21世紀の会)

漁業生産量の減少は

秋サケの稚魚の生残率を高める

議員 本県漁業の主力である、サンマ・秋サケ漁など、漁業生産量の減少をどのように考えるか。

担う人材の確保につながる環境の整備に努める。

診療体制の変更

市長 県サケ・マス増殖協会は、各地域に適した効果的な放流を行うための調査を実施し、稚魚の生残率を高め資源の回復を図る手法を検討している。

議員 水産業全体の高齢化と後継者不足が進んでいるが、どのように考えるか。

市長 首都圏などで開催される漁業就業フェアへの参加費負担や新規就業や独立支援、就業者を受け入れる側への支援など、次世代を

質問項目

- ・医療の課題と取り組みについて
- ・水産業の課題と取り組みについて
- ・小中学生の体力低下、通学路の安心
- ・安全について

望していく。

議員 県立釜石病院が、今後、規模が縮小されていくのではないかと心配だが、どのように考えるか。

保健福祉部長 12月11日に市長が県医療局を訪れ県立釜石病院の建て替え、当圏域の基幹病院として、安定的な医療体制を確保することなど強く要望してきた。

体力低下の要因

議員 当市の小中学生の体力と体力低下の要因をどのように考えているか。

教育長 小学生は全国平均

より高いが、中学生は男子が平均を下回る種目が多く、女子は持久走・シャトルランが下回る。体力低下の要因は、テレビ等の視聴時間が多いこと、睡眠時間が少ないことなどが挙げられる。

議員 通学路の合同点検は現在も行っているのか。その後、改善された箇所があったのか。

教育部長 通学路安全点検は、毎年実施している。点検結果、課題が見つかった場合は、修繕や規制などの対応を行っている。対応が難しい箇所は、学校での指導や見守り隊などに対応をお願いしている。



岩手県立釜石病院

市民の要望、 温浴施設の建設を

今後も情報収集を行う

議員 温浴施設の建設につ

いて、市民の健康づくり、観光の推進、地域経済活性化を図るために、温浴施設は必要であると考えます。今年

は新型コロナウイルスの感染者が岩手県内でも広がりを見せているため、当局も対外的な企業誘致など動きが制限された中で、温浴施設についても同様に誘致活動、情報収集などできなかったとのことである。市民には入浴しながら、健康の増進と余生を過ごせる憩いの場が必要では。

産業振興部長 温浴施設については高齢者を含めた地

域住民の健康増進に加え、

交流人口の増加に有効な施設と認識しており、立地向けては、アクセスや採算性を含めインフラ整備など

数々の課題があり、これまでも民間事業者と協議を重ねてきた。温浴施設の建設について今後も情報収集を行っていく。

議員 高齢者の健康に関する政策について、当市の高

齢化率は県平均に比べ高くなっている現状だが、高齢者が健康で長生きする政策は何か。

市長 誰もが住み慣れた地域で安心して自分らしい生

活を続けることができることを基本理念に掲げ、これを実現するため各種施策を推進している。

議員 高齢者にかかる医療

費は年間どの程度か。費用の軽減に向けて健康増進、予防医療が必要と考えるが、

市民生活部長 当市の高齢者の被保険者数は7341人で1人あたり年間医療費は79万2949円となっている。当市の後期高齢者1人あたりの医療費は県平均を上回っており、県内33市町村中11位となっている。健康増進事業については市民が主体となり健康づくり

や疾病重症化予防の推進に向け取組を行っている。

議員 高齢者の健康に関する政策を行う上で、高齢者の意見を聞いているか、また、具体的にどのような意見が出ているか。

保健福祉部長 今後重点を置くべき高齢者施策として、病気や要介護、認知症にならないための予防対策を実施すべきとの意見や、介護予防事業の中で筋力低下予防事業に参加したいとの意見が多数あり、この意見を参考とし事業計画を策定する。



岩手沿岸南部クリーンセンター
(入浴施設の一般開放を実施)



川嶋 昭司

(清和クラブ)

質問項目

- ・高齢者の健康政策について
- ・温浴施設について



山崎 長栄
(公明党)

質問項目

- ・10年目を迎える東日本大震災
- ・行政手続きの簡素化について

復興宣言はできるのか

令和7年が目途と考える

議員 震災から10年。様々な形態での救援・支援の波

は驚きであり、改めて人の情けの深さに気付かされる大震災でもあった。大切なものを失い嘆き悲しんでいたあの日を思い浮かべると、ぶつけどころのない怒り、悔しさと虚しさが込みあげてくる。10年の歳月は、その葛藤の繰り返しであり支援への感謝の10年でもあった。市長が思い描いた大震災からの復興は、なし得たと考えるか。

市長 令和3年3月で大震災から10年の節目を迎える。世界中からの温かい支援、

全国の自治体から多くの派遣職員をいただきながら復興を進めてきた。改めてご支援・ご協力に対し深く感謝申し上げたい。復興は10年という目標のもと、スクラムかまいし復興プランに基づき被災地域を21地区に区分し、地区ごとに「復興まちづくり協議会・地権者連絡会」を開催し復興まちづくりに取り組んできた。

市民の期待に十分応えることができたかということでは、そこまで至っていない点も多々あると思っており、その点に関しては皆様にお詫びをしなければならない

が、国や県と力を合わせ、制度の制限や法律の枠がある中で、精一杯取り組んできた。

議員 復興計画では復興宣言について触れられているが、いつ、どんなタイミングでなされるのか、宣言ができる状況とはどんな状況に至ったときなのか。

市長 定例会において、「全ての被災者が悲しみを乗り越え、新しい生活へと自ら一步を踏み出すことができたとき」と答弁してきた。具体的には、「全ての被災者が住まいの再建を果たし、被災した事業者のな

りわいの再生が完了し、被災21地区のそれぞれの基盤整備事業が完了したうえで、被災者一人ひとりの心の復興がなされたとき」がその時であろうと考える。基盤整備や住宅再建が完了する令和3年度は、大きな節目の年になるが、宣言を行えるとは考えていない。国が

第2期復興・創生期間として令和7年まで期間延長したことを今後も被災者一人ひとりを支援していく意思表示として捉え、令和3年度以降も被災者支援や区画整理事業の清算業務は継続することから、全てが完了する予定の令和7年を目途とすべきと考えている。



空地の目立つ区画整理事業区域



磯崎 翔太
(創政会)

質問項目

- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・保健福祉行政について
- ・財政運営について

新型コロナウイルス感染者の人権への配慮は

思いやる気持ちと冷静な行動をお願い

議員 新型コロナウイルス

が世界的に猛威を振るっている。当市でも複数の感染者が確認されてから、彼らや関係団体等への誹謗中傷や根拠のない情報の流布が散見される。誰もが感染する恐れがある中で、行政としては感染者の人権に対して配慮する必要があるが、取組状況は。

市長 差別・偏見・誹謗中

傷は決して許されることではないこと、新型コロナウイルス感染症の本当の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別を受けることが怖くて受診にた

財政運営

議員

当市の歳出状況や将来的な投資的経費等を鑑みた場合、現時点での行政サービスの提供状況をどのように考えるか。

総務企画部長 当市歳出の

特徴は、生活応援センターの設置などにより人的サービスの提供が手厚いことだ。減債基金を活用した繰上償還を行うことや公債費の負担低減を進めるとともに、職員定員の適正管理の推進、市単独で実施している扶助費の効果検証による見直しのほか、人口規模に見合った施設数のあり方を検討していく中で、施設の集約化や廃止により経常的な支出を抑えること等によって質の高い行政サービスを提供するための財源を確保していく必要がある。

医療等を志す学生支援

議員

当市に縁もゆかりもない方が医院等を開設するケースは多くない。地域で医療を志す学生を育てることと将来のUターンにつながるものが期待される。彼らのために推進可能な取組は。

保健福祉部長

奨学金返還

補助金制度や修学資金などの貸付けを実施している。

医療福祉関係の職種に対してやりがいを見出していただけに、小中学校等の協力をいただき、志していただく動機づけとなるような取組が必要だ。



新型コロナウイルス感染症
予防パンフレット



佐々木 聡
(令和クラブ)

質問項目

- ・想定し得る最大規模の洪水対策について
- ・観光行政について
- ・市民と行政の協働について
- ・子育て支援について

公共施設の浸水対策と防災機能は

土地の嵩上げや排水対策など検討する

議員 岩手県は令和になっ

て甲子川、小川川の想定し得る最大規模の洪水で浸水が予想される区域と深さを公表した。この洪水浸水想定区域の公表をうけて今後建設を予定している小佐野コミュニティ会館や地域から要望がある上小川、中小川集会所における浸水対策と防災機能は。

市民生活部長 小佐野コ

ミュニティセンター整備構想として1階部分はエントランス、ピロティとし、2階、3階は避難所機能、防災備蓄倉庫、停電、断水の備えも検討する。中小川、

上小川地区住民が合同で利用できる集会所については、

想定最大規模の降雨により中小川地区の多くの場所が浸水すると示されているため土地の嵩上げや排水対策などの安全対策を講じる中で避難施設としても活用できる施設の整備を検討する。

子育て支援

議員 釜石市子ども・子育て

て会議の成果と意義は。

保健福祉部長 コロナ禍の

子育て支援について委員から提案があった、新型コロナウイルス感染症が拡大す

る中、外出機会の減少に伴い、公園の整備・遊び場の

確保など、課題が見えている。委員からの様々な意見や子育て世代、子どもたちの意見を取り入れ、課題の解決に向けて関係課と協議を進めている。成果として保護者目線、事業主目線、教育、保育施設の従事者目線など、行政では通常気づかない観点から市の施策に対する意見や、教育、保育サービスについてなどの意見が出され、それが計画策定や事業の推進に反映されている。官民が一体となつて課題解決に向けて意見交

観光行政

議員 令和元年に整備され

た根浜レストハウス、キャ

換することにより、それぞれの役割を認識し、自助、互助、共助、公助の視点で取組みに活かせることが意義と捉えている。

ンプ場、多目的広場などの利用者数と今後の見込みは。

産業振興部長 令和2年の

4月から11月で6782人が利用した。オートキャンプ場の利用者が増加している。今後、みちのく潮風トレイル、三陸ジオパーク、根浜海水浴場などの拠点として滞在型観光も強化する。



根浜多目的広場で遊ぶ子どもたち

花園を狙えるチームを育成すべき

実現できる可能性はある

議員 ラグビーワールド

カップ釜石開催を契機に、中・長期的に高校ラグビーの聖地である「花園」を狙えるチームを育成すべきだが。

文化スポーツ部長 実現で

きる可能性はあるので、学校、行政やラグビー関係団体と検討組織を立ち上げる。

議員 移住定住拡大を図る

ため、移住定住相談センターや釜石地域雇用サポートセンターを設置するが、

その役割と効果をどの程度期待しているか。

産業振興部長 地域雇用セ

ンターは近隣の自治体に住

んでいる方にも当市での仕事や暮らしをサポートし、

産業振興と移住定住の促進を展開する。移住定住する方を5年間で100件以上

確保する。移住定住相談センターは市内求職者やその

家族、事業者など就業する側・雇用する側の働く場、

住まい、空き家の利活用の相談等サポートする。転入

者数は過去3年間の転入者数の平均値1024人を維持

することを指標とする。

議員 東日本大震災によっ

て震災前にあった4つのうち3つの商店会が解散した。

現在の東部の商店形成をみ

てこれまでの政策を振り返ってどのように思うか。

産業振興部長 震災をきつ

かけに廃業が進むと同時に開業・廃業の循環も停滞し

ているものと捉えている。グループ補助支援、各種補助制度やテナント区画の整備等を行い、一定程度地域

内での消費喚起を促進できていると思う。

議員 復興住宅での自治組織の現状は。

市民生活部長 27団地で自治会設立支援を行い、現在

24団地で設立した。また、コミュニティ形成、孤立防止、仲間づくり等を推進す

る「コミュニティ支援員配置事業」、自治会運営を後押しする「復興住宅自治会活動補助事業」、見守り活動としての「生活再建移行期被災者支援連絡員事業」

をツールとして活性化を図っている。

議員 サクラマス養殖のほ

かの魚種、貝類の養殖に

チャレンジするか。

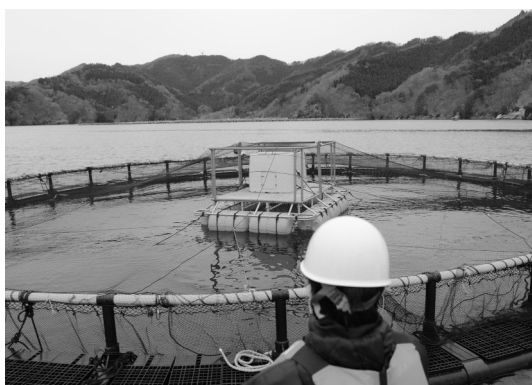
産業振興部長 サクラマス

の養殖試験研究を開始したが、研究成果によつては魚

市場の経営安定と流通や新たなビジネスの展開に期待

できる。まずはサクラマスの養殖研究を、コンソーシアムが主体となり注力して

取り組んでいる。



サクラマス試験養殖現場

※コンソーシアム…共同事業体のこと。

佐々木義昭

(21世紀の会)

質問項目

- ・第六次総合計画に基づくまちづくりの方向性について
- ・ラグビーのまち釜石について
- ・「水産振興」について



細田孝子
(公明党)

質問項目

- ・新型コロナウイルス感染症防止対策について
- ・健康福祉施策について
- ・住民の足の確保について

市内事業者に新たな支援策の検討を

国の補正予算を踏まえ検討する

議員 新型コロナウイルスの急激な

感染拡大は、市内事業者の経営や市民生活に重大な悪影響を与え始めている。また、飲食店や事業所からは、戻りかけていた客足が止まり、年末年始の売り上げを不安視する声も大きくなっているが、市として新たな支援策を検討しては。

市長 県が検討中の「事業者に対する家賃支援」の追加支援策について当市も県と連携し行う。また、国の第3次補正予算による経済対策を踏まえた上で、独自の支援策について検討していく。

相乗りタクシー

議員 今年度、移動手段の

確保につなげる実証実験として、大畑団地をモデル地域とした住民主体の相乗りタクシーを行っている。地域住民のみならず日常生活の移動手段に困窮している市民からも期待が寄せられた事業だが、利用者が増えないとのことである。事業の課題とその要因をどう捉えているのか。改善策をどう考えているのか伺う。

市民生活部長 登録者数が

増えないことが課題である。

要因は、事業の本質が住民

に理解されていないことや、玄関前から指定場所までの運行ではなく集合場所からの運行になったことが大きな一因と受け止めている。改善策として、事業趣旨の周知を徹底し、移動に伴う利便性の向上に向け、自治会とともに考えていきたい。

子宮頸がんワクチン

議員 国民にワクチンの情

報が行き届いていないことから、本年10月、ワクチン定期接種対象者等への周知について、勧告の一部改正

が通知された。

ワクチンが公費で接種できることや接種を判断するワクチンの有効性や安全性の情報等の提供を、改訂したリーフレットを活用し個別送付を行う等、具体策を示した上で、遺漏なきを期されたいと周知しているが当局の対応を伺う。

保健福祉部長 この度の通

知を踏まえ、改めて医師会と協議し、定期予防接種の対象となる小学6年生から高校1年生の女子児童・生徒及び保護者に対し、年内に個別に情報提供を行うことにしている。



相乗りタクシー

北上金ヶ崎パシフィックルート構想は

過去にない提案、議員と共に進めたい

議員 県議会12月定例会でも発言があったようだが、

北上市長が提唱する北上金ヶ崎パシフィックルート構想について伺う。金石自動車道江刺田瀬ICから北上市内を結ぶ路線の抜本改良、高規格化の構想に関して、市長は内陸等での動き、機運醸成をどのように感じ、どのような対応を考えているのか。

市長 北上市長が提唱する勉強会が北上市で開催されている。

これは、金石道へアクセスする北上市内の道路の抜本的改良のためである。

北上金ヶ崎パシフィック

ルート構想だが、金石、大船渡港への強い関心と内陸と沿岸との経済活性化を目指すため考えられたことで、歴史的に見ても過去にはなかったことである。

県の経済、港湾の活性化を考えた発想であり、議員の皆様にも一緒に取り組んでいただきたいと考えている。

議員

金石港においてもさらなる港湾活性の強化を目指す、RORO船の定期航路誘致に向け、京浜港から仙台港を経由し、北海道苫小牧港に向う途中で立ち寄

る形で実践された。

コロナ禍においても、前年8月対比1%増を維持している現在のコンテナ輸送数量等の推移及び今後の見通しは。

産業振興部次長

12月の取扱量が確定次第、令和2年の実績数値が固まるが、見通しとしては、昨年実績9292TEUを若干下回る9000TEU前後になるものと予想している。

この10年間、岩手県内陸部での金石港PRに努めた結果、昨今のコロナ禍によりながらも内陸の自治体、議員などにおかれても、金

石港の重要性を訴える声が大きくなっている。

今後より一層、内陸部との連携に向けた動きを活性化させるとともに、金石港周辺の道路整備による交通の便の向上というメリットを活かし、空コンテナ確保

の利点も活かしながら輸出貨物の確保に努め、取扱量増加に向けたポートセールスを引き続き積極的に展開し、国際港湾をインセンティブとする産業振興の取組を強化していく。



金石港のコンテナ積降作業風景



古川 愛 明

(創政会)

質問項目

- ・復興まちづくりについて
- ・下水道行政について
- ・教育行政について
- ・地域包括システムについて
- ・産業振興行政について



高橋 松一

質問項目

- ・第六次釜石市総合計画について
- ・独自の検証委員会の立ち上げと危機管理の強化について
- ・財政（固定資産税）について
- ・地域会議について

災害から生命と財産を守るには

人々の命を守るのが防災対応

議員 東日本大震災の復旧・復興が一段落した。最近の気象変動により風水害が多発しているとき、市民の生命と財産を守るための共通課題について伺う。

危機管理監 当市は地理的に海が近く津波災害が多い。また、狭い土地柄ゆえ、土砂災害の危険性も高い。地球温暖化の影響で想定以上の雨量で災害の危険性が高まっている。河川流域に家もあり、洪水等災害の危険性も高まっている。その中で、市民の生命と財産を守る第一ではあるが、財産を守ることは大変厳しい。

議員 何よりも大切な人々の命を守ることが防災対応だ。近年、多発傾向にある自然災害への行政の住民向けの対策は。

危機管理監 全市のなこととして、一人ひとりが自分の命を守ることが大切だ。しかし、避難場所が不足している。市内にこだわらず避難先を多く設けられるよう努力し、住民の命を守る。

議員 東日本大震災はとてあえず国からの財政措置は一区切りとなる予定だが、特に直接震災に遭われた方々の心労は大きい。市の今後の対応は。

復興管理監 震災に遭われた箇所が、元通りにならなかったところも多々あると思う。訴えの高台のところの震災エリアから外れたのか、できる限りやったつもりである。

議員 11月2日の市政報告会・地域会議の中で出ていたが、私たちの地域も津波にあったんだがどうなるのかとの問いがあったが、市民の生命と財産を守る立場の行政の策は。

市長 復興事業ではできなかったので別な事業でやりたい。そのための制度設計をし、地権者等と協議をし、

ている最中で、今回の補正予算には間に合わなかったが、来年度の当初予算の編成にあたりあたり実現できるように努める。

また、台風被害について、神社に行く手前の崩壊個所に市道もあるため、精査しながら鋭意協議しているところである。



防災訓練の様子



深澤 秋子

質問項目

- ・医療行政について
- ・教育行政について
- ・地域公共交通について
- ・防災行政について

検査拡充で、高齢者施設の感染抑止を

県の判断を注視し、適切に対応

議員 新型コロナウイルス

は、無症状の感染者が発症前に感染を広げる特徴がある。そのため、無症状の感染者を把握、保護するためのPCR検査を抜本的に拡充する必要があると考える。

特に基礎疾患のある高齢者への感染は最も危険とされている。県内においては高齢者施設でのクラスター発生もあり、施設の職員等への定期的な「社会的検査」が必要と考えるが見解は。

保健福祉部長 全ての高齢者施設においては、感染防止について可能な限りの対策を講じている。施設の職

員等への定期的な「社会的検査」の必要性については、県では感染状況に応じて実施を検討するとしている。県の判断を注視して適切に対応したい。

新たな避難場所

議員

内閣府より公表された「日本海溝、千島海溝沿い巨大地震」は、東日本大震災と同等の規模とされる。当市では、破堤された場合を想定し、より高台の新たな避難場所を加えた。しかし高齢化のなか避難場所への移動は困難と考えられる。

高齢者に対しては、近隣の公営住宅等の空き室の開放を望む声もあり、「一時避難ビル」として検討の余地があると思うが。

危機管理監 巨大津波では破堤された場合浸水エリアが中妻地区まで拡大するなど示されている。新たな避難場所として、中妻地区においては、八雲神社境内を指定した。また令和3年度中に、県が津波浸水想定について公表する予定である。公表後に、津波避難ビルの要件に合致したビル等を指定する予定としている。

地域公共交通

議員

低床バスの車イス乗客の利用実績は。また、いつでもどこでも乗降できる体制となっているか。

市民生活部長 車イス乗客は、平成30年度は年間7

8件、令和元年度は2

3件、今年度は今のところ利用がないと伺っている。車イス利用者が乗降する場合には、事前の連絡を頂くことで乗車できる体制がある。今後、車イス利用者等が気軽に乗降できる体制を目指し協議する。



避難場所に指定された八雲神社境内

議案審議

介護施設等整備事業費補助金

問 当初予算より減額となった理由は。

答 今年度の施設整備事業に、認知症対応型の通所介護事業と共同生活対応型の2つを予定し公募したが、人材確保ができず、通所型の整備のみとなった。高齢化のなか必要な事業であるが、介護事業の人材確保は、かなり厳しいと受け止めている。

魚市場会計繰出金

問 一般会計から魚市場事業特別会計に1千万円を繰出す経緯・理由は。

答 水揚げの減少など、魚市場の厳しい状況から使用料歳入が見込めず、水産物の生産、流通など魚市場の機能を維持し、持続的に魚市場を運営していく

ためには、一般会計から魚市場特別会計に1千万円を繰出し、一般会計と魚市場特別会計で繰入、繰出処理をする必要がある。

観光物産PR経費

問 エール券の追加販売の状況と今後の課題は。

答 追加販売分のエール券を7600冊を11月20日から3日間で完売した。販売方法について、公平感や販売場所等で混乱させたことを反省・検証している。今後は市民ニーズを的確にとらえ事業に活かしていく。

釜石港振興事業

問 釜石港を取り巻く環境は。

答 本年11月末時点のコロナ取扱量は、新型コロナウイルス感染症等の影響で前年から3%減となった。一方、取扱企業数

は84社から約100社に増加したことからも釜石港は着実に力を付けてきている。今回の奨励金事業や高速道路・港湾等のインフラをPRし、更なる知名度向上を図り目標の3万5千TEUの早期実現を果たしたい。

市役所電子化推進事業

問 この事業における業務効率化とはどんな業務を指しているのか。またペーパーレス化することで紙の節約ができる。その節約金額はどれくらいを見込んでいるのか。

答 事務フローや保存書類等の傾向調査を行い電子化を進めたい。およそ数百万円の節約と思われる。電子化での業務時間の削減は試算で年に2万4千時間、人数にすると12・9人の効率化を見込んでいる。

議員全員協議会

■令和2年11月27日に第2次釜石市地域公共交通計画の策定について協議を行いました。

会議冒頭に市長から当市のバス路線を取り巻く環境について、国の補助事業である特定被災地域公共交通事業が今年度で終了するなど、更に厳しくなるものと想定されるとの挨拶がありました。

その後、当局より市民アンケートの調査結果及び現計画の振り返り評価結果を踏まえた施策体系案などの説明がありました。

これに対し議員からは、アンケート調査結果・幹線支線化による交通不便地域解消・スクールバスとの連携・利用者目線での車両更新・乗り物に関する教室の実施・公共交通に係る財源負担・コミュニティバスの運行等、計画案を補強する質問や意見が出されました。

■令和2年12月25日に第6次釜石市総合計画と中期財政計画について協議を行いました。

第6次釜石市総合計画は、令和2年度で計画期間を終了する釜石市復興まちづくり計画の後を受け、次の10年間の市の行財政運営の最高指針となるものです。

「かまいし未来づくり委員会」を始めとする市民諸団体や市議会市政調査会等との協議を経て策定された案が当局より提示され、議員からは人口減少対策や産業振興、幼児教育、介護や地域医療への取組等についてさらなる踏み込みが求められました。

中期財政計画については、今般の世界の経済情勢や国の財政状況を鑑み、より慎重な財政運営を求める意見が多く、当局からは聖域無き精査を行い財政の健全化を進めるとの表明がなされました。

市政調査会

令和2年10月20日に第六次総合計画（素案）における第3編の基本計画を中心議題として、市政調査会総会を開催しました。

当初は10月12日に開催する予定でしたが、審議の間が十分に確保できないと判断し、開催日を改めたものです。

当局から基本構想で定める5つのまちづくりの基本目標ごとに施策を体系的に位置づけたこと、市内を8つの地区に区分したうえで地域ごとに課題を整理して、基本方針、基本目標、地域での取り組みを掲げていることの説明がありました。

議員からは、市民の健康増進、災害避難環境の整備、自主防災組織を始めとした地域防災のあり方、地域医療の充実、水産振興、人口減少対策等における移住定住の推進、釜石港の機能強化など多岐にわたる質問が出されました。

民生常任委員会

令和2年11月12日に釜石市すくすく親子教室、上中島こども園、平田子育て支援センターを視察しました。

多機能型事業所である釜石市すくすく親子教室では、支援を必要としている子どもに対して、発達を促す療育の提供を行うことや、子どもの保護者や家族、保育者に対して支援が行われています。同教室には県内でも数ヶ所しか導入されていない「スヌーズレン」が導入されています。五感に働きかけることで総合的な気分の改善、緊張感や抑うつ、疲労感を緩和させると言われ、情緒の安定、不安の軽減に効果があるとのことでした。

令和2年度に開所した平田子育て支援センターでは、床に釜石市の木材を使用しているほか、木のぬくもりを感じられるようなおもちゃ、ボールプール等が設置されていました。

議会の動き

請願

●安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる少人数学級の実現を求めることについての請願書

採択

※民生常任委員会に付託しておりますが、12月18日の本会議において、千葉榮民生常任委員長から、請願審査の経過と採択すべきものとの結果の報告がありました。その後採決を行い、賛成多数により「採択」となりました。

陳情

●令和3年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願ひ報告

●私学教育を充実・発展させるための陳情報告

10月.....

20 市政調査会総会
・議会改革特別委員会理事会
28 会派代表者協議会
・議会改革特別委員会理事会

11月.....

9 議会改革特別委員会
12 民生常任委員会
視（市内各施設）

17 議会運営委員会
・議会改革特別委員会

19 民生常任委員会
協（請願審査について）

24 会派代表者協議会
27 議員全員協議会
・議会改革特別委員会理事会

30 議会運営委員会

12月.....

4 議会運営委員会
7 12月定例会（18日）
・民生常任委員会
協（請願審査について）

協（請願審査について）

・議会運営委員会
・議会だより編集特別委員会

11 市政調査会幹事会
・会派代表者協議会

15 民生常任委員会
協（請願審査・継続調査について）

16 総務常任委員会

協（継続調査について）

・経済常任委員会

協（継続調査について）

17 議会運営委員会

・議会改革特別委員会理事会

24 議会だより編集特別委員会
25 会派代表者協議会
・議員全員協議会

1月.....

8 議会だより編集特別委員会
12 議会だより編集特別委員会
13 新型コロナウイルス感染症対策会議
・議会運営委員会

14 議会だより編集特別委員会
15 議会改革特別委員会理事会

※協：協議事項 視：視察研修

応募要項と詳細は↓



<https://www.city.kamaishi.iwate.jp/shingikai/docs/2020032400027/>

「表紙掲載写真募集中」
市民の皆様からの市内の風景やイベントなどの写真を募集しております。
“どしどし” ご応募ください。

○応募先

gikaijimu#city.kamaishi.iwate.jp (#を@に)

新しい年に臨んで



議長 木村 琳藏

新年を迎え、市議会を代表して市民の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受けた一年となりましたが、一日も早い収束を願うところです。

また、本年三月で東日本大震災から十年を迎え、復興事業は大きく進展していますが、引き続き被災された皆様の心に寄り添いながら復興の完遂を目指すとともに、近年激甚化する自然災害への対応や少子高齢化、産業振興など市政課題の克服に取り組む必要があります。

市議会といたしましては、開かれた議会を目指し議会改革を進めるとともに、市勢振興に向け議員一丸となって取り組んでまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

21世紀の会



佐々木 義昭 水野 昭利 木村 琳藏 千葉 榮 野田 忠幸

議員は、選挙区内に住んでいる方に対し、答礼のため自筆によるものを除き、年賀状などのあいさつ状を出すことは、法律で禁止されています。

市民の皆様のご理解をお願いします。

公明党



細田 孝子 山崎 長崇

清和クラブ



三浦 一泰 遠藤 幸徳 川嶋 昭司 平野 弘之 大林 正英

会派に所属していない議員



深澤 秋子



高橋 松一

令和クラブ



菊池 秀明 佐々木 聡

創政会



古川 愛明 磯崎 翔太

あとがき

▼今年で東日本大震災から10年がたちます。みなさまにとつてこの10年は早かったですか、遅かったですか？人生においてこれ程めまぐるしい10年は無かったのでは・・・。

▼大津波、感染症や戦災など釜石人は幾多の困難を乗り越えて歴史を築いてきました。

▼今年の、初詣において疫病退散を願い事にした方は多かったと思います。新年を迎え、改めて困難に立ち向かう意志を、胸に刻みました。

(佐々木 記)

委員長	細田 孝子
副委員長	磯崎 翔太
委員	三浦 一泰
	野田 忠幸
	佐々木 聡
	深澤 秋子
	高橋 松一